

良質で安心していただける医療を

まいづる きょうさい

<http://www.maiduru.com>

2017
1

Vol.28

Maizuru
Kyosai
Hospital

公益財団法人
日本病院機能評価機構
病院機能評価 Ver6.0
認定病院



地域医療支援病院認定施設

Contents

年頭のご挨拶	2
赴任医師の紹介	3
病院機能評価の再審査認定	3
BFH母乳育児講演会報告	4
理念・基本方針	4
市民医療フォーラム報告	5
「金曜日はカレーの日」	6
すこやか森ニュース	7
診療時間・外来各科診察担当医 ..	8



「五老ヶ岳の雲海と星の輝跡」 Photo/ 刑部 正人先生 (循環器内科)

国家公務員共済組合連合会

舞鶴共済病院

発行人/布施 春樹 編集/舞鶴共済病院広報委員会
〒625-8585 京都府舞鶴市字浜1035番地
TEL0773-62-2510 FAX0773-64-4301

ホームページもご覧ください

舞鶴共済病院

検索



平成29年 年頭のご挨拶

明けましておめでとうございます。年頭に当たりまして、一言挨拶させていただきます。

昨年はこちら数年同様、激動の一年となりました。国際的にも、イギリスのEU離脱から始まり、韓国の大統領問題、アメリカ合衆国の大統領選挙にそれぞれ想定外・予想外のことが起こり、今後の対応に関心が注がれています。また不安定な時代を象徴するように、テロリズムによる事件がとどまることを知らないように頻発しています。報道によると1年で1万件の計画があるとされ、いつ身近で起こるかも知れないという、その現状に震撼させられる思いです。

国内では、リオ五輪における日本人選手の活躍に胸躍らせ、またノーベル賞も医学生理学賞に大隅教授が選ばれ、3年連続日本人の受賞と日本人として誇るべき年でありました。

しかし、政治と金の問題は相変わらずマスコミを騒がしています。自然災害も多くありました。特に熊本地震は大きな被害を与え、3年前に共済学会の際訪れたあの熊本城の惨状は目を覆うものでした。また台風も昨年はたくさん上陸しました。そのため被害も昨年は特に多く、それぞれの被災された地域の日も早い復興を祈るばかりです。

さて、医療情勢に目を向けると、昨年は診療報酬改定があり、大きな改定となりました。最も大きなものは、7:1看護体制の病棟における医療・看護必要度を15%から25%に引き上げたものでした。当院はこの改定に対応し、7対1看護体制を堅持するために、昨年10月より地域包括ケア病棟を立ち上げました。これによって当院の総病床数は310床から300床となりましたが、今後、より効率的な病棟利用のために地域包括ケア病棟が寄与するものと期待しています。

今年は2017年ですが、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けて、京都府地域医療構想調整会議も当院が二次医療圏として属する中丹医療圏での提言がなされました。中丹医療地区は、福知山市、綾部市そして舞鶴市の3市で構成され、医療完結型の地域で流入・流出が少ない地域です。地域医療構想会議でも、現在の病床数で継続との提言がなされました。当院は、ICU,CCUを保持する病院として高度急性期・急性期機能を有し、post-acute、sub-acute機能としての地域包括ケア病

棟を運用し、今後も地域の急性期基幹病院としてその役割を果たしていくことになります。

この急性期基幹病院として機能する際に、最も問題となるのは、医師不足です。特に救急分野です。休日診療所は開設されましたが、現実に勤務医の負担改善まで効果的になっていません。各公的病院が、いろいろ問題を抱えながら、何とか救急体制を保っているのが現状です。根本的には公的病院の医師不足が大きな原因となっています。これまでも常に取り組んでいる問題ではありますが、一朝一夕には解決しません。一つには地方と都市部の医師偏在を何とか解決しなければいけません。当院としては、少なくともこれからも医師・研修医に選ばれる環境を整えていく必要があります。そのために正確な最新の情報を提供するためにホームページを最大限に活用していきます。これからも内科系を中心にした常勤医獲得にさまざまな方法で、さらに努力していく所存です。また他の公的病院とのさらにスムーズな連携が必要と思われれます。そのために病院間での緊密な話し合いを継続していきます。

医療の質の向上としてのチーム医療の推進も、医療安全の確保の面でも積極的に進めていこうと思います。チーム医療を推進するためには、必要とされる正確な情報を共有し、職種間で十分なコミュニケーションをとることが必要です。また、さらにその基本となるのは、診療部、看護部、事務部それぞれの部署で一人ひとりが「プロ意識をもって、それぞれの職務を全うすること」でレベルアップをしていくことです。このことで、チーム医療がより進化し、医療の質向上に寄与していくものと思います。そのためには各部署で、働きやすい職場環境を構築していくことが大変重要であることも強調させていただきます。

今後、「良質で、安心していただける医療を提供する」という理念のもと、舞鶴共済病院を地域の特徴ある病院に作り上げていきたいと決意しております。

最後に本年が、舞鶴共済病院にとってまた皆さん一人ひとりにとって、より良い年になることを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

平成29年1月4日

舞鶴共済病院長 布施 春樹

赴任医師の紹介

新たに舞鶴共済病院に赴任しました
2名の医師をご紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。

【敬称略、順不同】



相木 孝允
あいき たかよし

循環器内科

- 【出身大学】東京医科大学(平成25年卒)
- 【専門領域】循環器内科
- 【所属学会・認定医・専門医等】日本循環器学会
日本心臓病学会
日本内科学会
- 【趣味・特技】柔道

ひとこと 患者さん一人一人を真摯に向き合い治療をすすめていきたいと思っています。



岡部 大輔
おかべ だいすけ

麻酔科

- 【出身大学】大分大学(平成17年卒)
- 【専門領域】麻酔全般
- 【所属学会・認定医・専門医等】日本麻酔科学会
日本ペインクリニック学会
日本集中治療医学会
日本麻酔科学会 標榜医
日本麻酔科学会 専門医
- 【趣味・特技】スポーツ観戦・テニス

ひとこと 手術での麻酔に関して分からないこと、不安なことがあれば何でもお聞きください。

病院機能評価の再審査認定について

平成28年5月21日付けで、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価3rdG Ver.1.1の認定証(更新)の交付を受けました。

当院は、平成13年5月に初めて病院機能評価を受審査しました。認定期間は5年とされており、その後3回の更新を経て昨年(平成28年)2月に4回目の再審査を受審し、「認定病院」として認められました。

今後も引き続き更なる病院機能の向上を目指して取り組んでまいります。

病院機能評価とは

病院が組織的に医療を提供できる機能を有しているのかを第三者の目で評価することが「病院機能評価」です。公益社団法人「日本医療機能評価機構」が行う事業の一つです。

日本医療機能評価機構に所属する評価調査者が、中立で公正な立場の下、当該病院が所定項目を満たしているかを判断します。

その上で病院内の課題を明らかにし、改善に向けて行動するように病院に指導します。

このような審査を経て評価調査者が一定の水準を満たしていると判定した病院は、「認定病院」と認められます。2017年1月時点で全国の病院の約26%の病院が「認定病院」となっています。



第6回BFH母乳育児講演会を開催しました

去る9月17日(土)に、当院を会場に、第6回母乳育児講演会を開催致しました。当日は、医療・教育関係の方々にも多数お集まり頂き、94名の方にお越し頂きました。

当院は、2006年に京都府で初めて『赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital:BFH)』に認定を受けて以来、隔年で母乳育児講演会を開催しております。

今回は、大阪府立母子保健総合医療センター 新生児科主任部長 北島 博之 先生を講師にお招きし「自然なお産から始まる母乳育児」をテーマにご講演頂きました。先生のお話は、母乳育児に繋がる「自然なお産」の大切さを改めて教えて下さいました。当院産科でも、「自然分娩」と「母乳育児」を推進しておりますが、単に「自然分娩」「母乳」にこだわるものではありません。それが、母親の達成感や自己効力感・満足感に繋がり、さらには育児への自信やモチベーションに影響し、母と子の絆を築く上でなくてはならないものだと思認識しているからです。近年、高齢出産や不妊治療後の出産も増加し、出産がゴールとなり、その後の育児がイメージ出来ない、産後周囲のサポートが得られない中での育児のスタートなど、多くのストレスを抱えながら育児に奮闘する母親達も多いと感じます。当院は、「赤ちゃんにやさしい病院」として母乳育

児支援を通して、母親達が安心して楽しく育児ができ、母子が幸せに過せるようサポートしていくことが、私たちの役割だと思っています。

『赤ちゃんにやさしい病院(Baby Friendly Hospital:BFH)』は、赤ちゃんにやさしいだけでなく、母親にもやさしい病院であることをこれからも伝えていきます。今後ともよろしくお願い致します。



舞鶴共済病院 理念と基本方針

理念

Idea of Maizuru Kyosai Hospital

当院は患者さんに良質で
安心していただける医療を提供いたします

基本方針 Basic Policy

1. 良質で安全な医療

私達は安全で質の高い医療をめざし患者さんの信頼を得るよう全力を尽くします

2. 患者さんを中心とした医療

私達は患者さんの人格・権利を尊重し十分な説明を行うとともに患者さんの了解のもとに医療を行います

3. 地域との積極的な連携

私達は地域の医療ニーズに応え地域と密接な連携を大切にします



第9回 市民医療フォーラム 開催の報告

本年度も一般市民の皆様を対象にした「第9回市民医療フォーラム～知って得する健康講座～」(共催:一般社団法人舞鶴医師会)を舞鶴市政記念館ホールにて9月3日(土)に開催致しました。

当院からは副院長の竹内一雄先生が『大腸がんのおはなし』と題し、大腸がんの検査方法や最新の治療方法について講演致しました。その中で、便潜血検査を例に挙げ、早期発見の重要性について話されました。

舞鶴医師会からは「ながうちこころのクリニック」院長の長内清行先生に『がんところ～もしもがんといわれたら～』と題し講演していただきました。日本人の2人に一人ががんになるという現状をふまえ、がんといわれた場合のこころの反応やこころのケアについてわかりやすく説明していただきました。また、家族などの周囲の人はどう向き合うべきかといった内容のお話もしていただきました。

今年は過去最高159名の幅広い年齢層の方々に参加して頂き、盛況に講演を終えることが出来ました。



舞鶴共済病院 副院長
竹内 一雄 先生



ながうちこころのクリニック 院長
長内 清行 先生



金曜日はカレーの日^錨

国家公務員共済組合連合会
舞鶴共済病院 薬剤科

堀 哲史



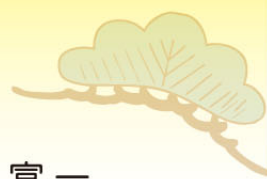
みなさんご存じとは思いますが、舞鶴では海上自衛隊が金曜日にカレーを食べることにちなみ、「金曜日はカレーの日」プロジェクトを行っています。明治40年に舞鶴海軍工廠職工共済会病院として設立された、当院のレストラン「なばな」も金曜日のランチメニューはカレーです。そこで私たち薬剤科もこのプロジェクトに参加しよう、ということで2014年7月より毎週金曜日に皆でカレーを食べることにしました。毎週交代でおすすめのレトルトカレーを購入し、お昼に一緒に食べています。そして味、値段、特徴などを皆で評価して記録してきました。

毎週様々なカレーを食べ続け、昨年の9月2日に第100回目を迎えることができました。100回目ということは、これまで100種類近くのレトルトカレーを食べたということであり、過去の記録を振り返ると非常に感慨深いものがあります。ちなみに、最も評価の高かったレトルトカレーは「本場飛騨牛ビーフカレー」(山武商店)でした(あくまで薬剤師たちの主観です)。

今回100回記念会ということでレストラン「なばな」にご協力頂き、カツカレーでお祝いすることができました。「継続は力なり」と言いますが、2年続けてきたことでお昼に皆で談笑しながらカレーを食べるのが名物のようになり、薬剤科の団結が深まっていると感じます。薬学部の実習生にもカレーを振る舞い、印象に残る楽しい実習だったと好評です(カレー以外の事も、だとは思いますが)。

金曜日のお昼に薬局を訪ねていただくと、カレーの良い香りが漂ってきますよ。





平成29年新年の挨拶

施設長 山本 富一

明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで、穏やかな正月を過ごされた事と思います。

当施設では、昨年1年間を大過なく過ごすことができました。ひとえに職員の皆さんの努力の結果です。施設長として、まずは御礼申し上げます。

年頭の挨拶は抱負を語り、夢を膨らませるような話が良いと思いますが、本年はあえて、施設長として現在のすこやか森を高く評価している理由を述べて挨拶にしたいと思います。

介護の職場は病院と同様に専門職の集団です。それぞれの専門職が自分の専門性を主張すればするほど、協調性が乱れ、総合力の低下につながることは言うまでもありません。施設介護の優劣は総合力の勝負だと思っています。

日ごろから申し上げておりますように、「すこやか森」ではその専門職の方も、利用者の方も、利用者さんの「お世話」に関わってほしいと思っています。

介護福祉士は単にお世話をするだけでなく、介護に福祉の考え方を入れて頂くのが本当のプロではないでしょうか？理学療法士も介護の中に専門知識の生かし方を工夫して、実行するのが理学療法士の介護施設での在り方ではないかと思っています。管理栄養士さんも単に献立表を作るだけでなく、積極的に介護の現場にかかわり、食に関するアイデアを出して、実行して頂く事こそプロの仕事だと思っています。

看護師も同じです、初めに介護があって、そのうえで看護師としての医療知識や技量を生かしてほしい。そんな中にこそ職員間の融和が生まれ、介護に温かさが生まれてくるものと信じています。

すこやか森ではこのようなことは既に実行されており、提供している介護レベルは理想に近づいていると思っています。

毎年新しいケアマネージャーが誕生しています。単に試験に合格しただけでなくて、ケアマ

ネージャーを取得することで現場に福祉の考え方が更に入って、介護の質的向上が期待できると考えています。

昨年は理学療法士にもケアマネージャーが誕生しました。理学療法士の介護への関わりが少しずつ変化しているように思うのは私ばかりではないと思います。

今や施設の看板の一つともいえる音楽療法士も、一段と利用者さんとの関わりが良くなったと思います。一昨年に介護福祉士資格を取得されたことが大きく関係していると思えます。

事務系の職員も専門的な資格は少ないですが、機会あるごとに福祉の勉強はしてほしいと思っています。資格取得というやり方でなくても、現場に足を運び、現場の雰囲気を感じて、施設管理や事務業務に生かしてほしいと思っています。足を使う管理事務部門を目指してほしいと思っています。管理事務部門の職員は組織の潤滑油の役割であることを改めて認識して頂きたいと思っています。施設の将来は事務力にかかっていると考えています。

施設管理者を兼任する施設長は、医師としての働きと共に、「良質の介護は健全な施設運営に宿る」をモットーに頑張りたいと思っています。

今年1年も、皆さんと共に健康で事故のない年を過ごせるように、願ひまして年頭の挨拶といたします。

平成29年1月4日



診療時間・外来各科診療担当医

H29.1.1 現在

診 療 科		月	火	水	木	金	
総合内科※1		再 診	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	
呼吸器内科・神経内科※1		(予 約)	【神経内科】	—	【呼吸器内科】	【神経内科】	
血液免疫内科		血液内科	—	—	—	—	
		リウマチ膠原病内科※1 (初・再診)	—	中村 拓路	—	梅原 久範 (3～4回/月)	
消化器センター	消化器内科※1 外 科	1診【消化器内科】	渡邊 国嗣	担当医	渡邊 国嗣	井本 智宏	
		2診【消化器内科】	廣濱 昌尚	井本 智宏	山本 富一	廣濱 昌尚	
		3診【共通】	—	—	—	午後 【緩和ケア 外来・相談】 (予約制)	—
		午後【消化器内科】	【検 査】	—	【検 査】	—	【検 査】
		4診【外科】	竹内 一雄	竹内 一雄	(再 診)	竹内 一雄	(再 診)
		5診【外科】	成瀬 貴之	佐藤 嘉紀	【手 術】	千田 勝紀	【手 術】
		午後【外科】	【手 術】	【検 査】	—	【検 査】	—
循環器センター	循環器内科	1診(初診)	加藤 雅之	刑部 正人	松尾 清成	(第1・3・5週) 田川 (第2・4週) 亀井	臼井 公人
		2 診	田川 雅梓	松尾 清成	刑部 正人	(第1・3・5週) 亀井 (第2・4週) 田川	亀井 俊治
		3 診	石瀬 昌三	相木 孝允 午後(14:00～16:00)	加藤 雅之	臼井 公人	—
		4 診	【ペースメーカー外来】※4 児島 成之	【不整脈(初再診)】※1 児島 成之	—	—	【不整脈(初再診)】※1 児島 成之 午後(12:30～16:00)
	心臓血管外科※1	1診【心臓外科】	—	—	松下 努	—	松下 努
		2診【血管外科】	—	—	増田 慎介	—	増田 慎介
		(予 約)	【手 術】	【手 術】	—	【手 術】	(第1・3週) 【ステントグラフト外来】※4 坂井 修
小 児 科	1 診	野口 正	堀澤 徹	野口 正	野口 正	堀澤 徹	
	2 診	堀澤 徹	野口 正	増田 淳司	堀澤 徹	増田 淳司	
	午後(予約)※4	【予防接種】※5 堀澤 【慢性疾患外来】 担当医	(第3週以外)【心臓外来】奥村 (第3週)【神経外来】齊藤 【慢性疾患外来】担当医	【乳児健診】※5 担当医 【慢性疾患外来】 担当医	【予防接種】※5 野口 【アレルギー外来】増田 【慢性疾患外来】担当医	【慢性疾患患外来】担当医 【冬期間】 【シナジス・インフルエンザ予防接種】	
整形外科※1	1診(初診)	野口 学	—	松田 正樹	内藤 充啓	松田 正樹	
	2診(再診・予約)	松田 正樹	【手 術】	野口 学	野口 学	野口 学	
	3診(再診・予約)	内藤 充啓	—	内藤 充啓	松田 正樹	内藤 充啓	
皮膚科※2	1診(再診)	—	—	木崎 二郎	—	益田 浩司 午後(12:30～15:00)	
泌尿器科	1 診	岩崎 比良志	布施 春樹	—	布施 春樹	岩崎 比良志	
	2 診	—	谷尾 信	—	谷尾 信	—	
	午 後	【手術】／【検査】	布施 春樹(予約のみ) 【手術】／【検査】	【手 術】	布施 春樹(予約のみ) 【検 査】	【手 術】	
産婦人科	1診【婦 人 科】	河原 和美	坂野 陽通	河原 和美	坂野 陽通	天谷 優介	
	2診【産科／婦人科】	天谷 優介	河原 和美	天谷 優介	河原 和美	坂野 陽通	
	午 後	—	(予約)【腫瘍外来】	【手 術】	—	【手 術】	
眼 科	1 診	三重野 洋喜	丹羽 匡世	—	—	—	
	午 後	【手 術】	—	休 診	酒井 克之 受付13:30～15:30 診察14:00～16:30	休 診	
耳鼻咽喉科	1 診	富田 かおり	富田 かおり	(第1・3・5週) 富田 (第2・4週) 小山	富田 かおり	—	
	2 診	小山 佳祐	小山 佳祐	—	小山 佳祐	担当医	
	午 後	【検 査】	【手 術】	【小児外来】※3 (第1・3・5週) 富田 (第2・4週) 小山	【検 査】 (第1・3週・予約) 【補聴器外来】	【手 術】	
歯科口腔外科※4	1診(初診・予約)	担当医	三木 真優	小林 大介	担当医	田中 昭生	
	2診(予約)	—	小林 大介	田中 昭生	—	三木 真優	
	3診(予約)	【手 術】	田中 昭生	三木 真優	【手 術】	小林 大介	
	午 後	【手術】／【外科処置】	【外科処置】	【外科処置】	—	【専門外来】	

※やむを得ず予定を変更することがあります。
各外来でその旨お知らせいたしますので、
悪しからずご了承ください。

受付時間

平日8:30～11:30

但し、耳鼻咽喉科(火・金)8:30～11:00
眼科(木)13:30～15:30
皮膚科(金)12:30～15:00

※1 総合内科・消化器内科・神経内科・呼吸器内科・膠原病内科・整形外科・
心臓血管外科・循環器内科の不整脈(火・金)の初診受付には
他院からの「紹介状」が必要となります。

※2 皮膚科は再診のみとなります。

※3 耳鼻咽喉科の小児外来(再診) 受付(水)15:00～16:30

※4 ペースメーカー外来・ステントグラフト外来(完全予約制)
歯科口腔外科(紹介完全予約制)
小児科・午後(予約制)

※5 小児科/乳児健診(要予約) 受付(水)13:45～15:00
予防接種(要予約) 受付(月・木)13:30～15:30

外来診療のご案内

- 診 察 日 月曜日～金曜日
- 休 診 日 土曜日・日曜日・祝日・
年末年始・創立記念日
- 受付時間 8:30～11:30

急患の場合は
この限りではありません。

面会時間について

- 平 日 14:00～20:00
- 休診日 10:00～20:00

なお、病状などによってはご面会をお断り
する場合がありますのでご了承ください。

当院では、患者さんの安静と治療のため、
面会時間を定めています。

病院への案内図

